

平成23年度



学習の手引き

— 確かな学力を身につけるために —



杉戸町立広島中学校

年 組 氏名

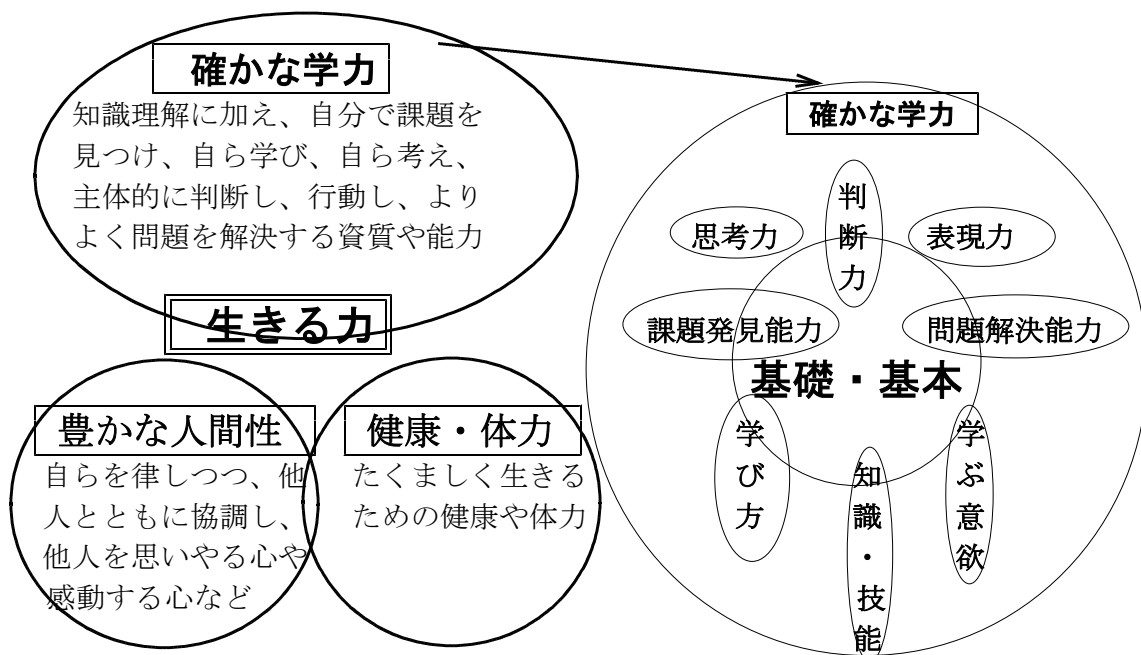
確かな学力を身につけるために

「確かな学力」という言葉を耳にしたことがありますか。生きていくためには、様々な困難にぶつかります。そんなときに、自分の力で工夫して解決していけることが求められます。社会では単なる知識や技能だけでは解決できないことも多くあります。そのためには「とにかくチャレンジしてみよう」「粘り強く考えてみよう」「発想を転換してみよう」「自分で判断してみよう」「何度も繰り返しやってみよう」「よりよい方法を考えてみよう」「わかりやすい表現方法で試してみよう」…と、具体的な行動をおこし、自分の力で考えをまとめ、相手に説明し理解してもらう力が必要なのです。

中学校では、1年生、2年生、3年生と学年が進むにつれて、学習の内容も大きく広がり、そして深くなっていきます。「知識や技能」以外に「思考力」「判断力」「表現力」「問題発見・解決能力」「学び方」などの「基礎・基本」を確実に身につける必要があります。覚えなければならないことをしっかり覚え、わからないことを自分で調べ、いろいろな解決方法を知ること、で「確かな学力」の「基礎・基本」が身につくのです。

そこで、学校の授業にしっかりと取り組むことはもちろん、それと同じくらい家庭学習を充実させることが、学年に関係なくすべてのみなさんにとって、とても大切なことなのです。

『確かな学力』とは



見える学力……知識・理解、技能

見えない学力…思考力、判断力、表現力、関心・意欲・態度

の総合的な学力
(確かな学力)

中学校の学習について

広島中学校では、昨年度より「学び合い」を取り入れた授業へと改善し、「確かな学力」の育成に取り組んでいます。「学び合う授業」とは、学級のみなさん全員が参加する授業と言い換えることができます。簡単に言うと授業の中でお互いの「教え合い」があり、その過程を通して、その時間の学習内容を全員が理解することにあります。わからない生徒はわかるまで学習し、わかった生徒は人に教えることでさらに深く理解するような授業を目指しています。

また、授業と家庭学習は、自動車でいうと両輪のようなものです。どちらかが欠けると車は前に進みません。50分の授業で学んだことを家庭学習で定着させることが重要です。小学校時代はやらなくてもまあまあできた人も、中学校ではやらないとできなくなることは明らかです。

授業では

<規律ある学習のために>

- 1 始めと終わりは、大きな声であいさつをする。
- 2 チャイムで着席し、先生を待つ。
- 3 ノートや教科書など、忘れ物をしない。
- 4 指名のときの返事は大きな声で、「はい」という。
- 5 指定された服装で授業を受ける。
- 6 提出物は期限までに提出する。
- 7 ノートをきちんと書く。

<学び合う学習のために>

- 8 発表はみんなに聞こえるように大きな声で行う。
- 9 説明や発表中は絶対におしゃべりをしない。
- 10 共同での作業や教えあいのときは小さな声で、まわりに迷惑をかけない。



家庭学習では

- 1 明日の授業を予習する。
- 2 その日のうちに宿題や復習をする。
- 3 学校で配布されたワークブックを活用する。
- 4 声を出して読んだり、CDやテープを聴く。
- 5 反復練習をする。(漢字・計算・英単語)
- 6 無駄・無理のない計画を立て、毎日継続する。



評価について

評価は評価規準にもとづいて観点別に評価します。教科ごとに観点が決まっており、国語が5つ、他教科はすべて4つになっています。この観点で、3段階（A…十分満足できる B…おおむね満足できる C…不十分である）で評価します。

以下が各教科の観点です。

国語	国語への関心・意欲・態度
	話す・聞く能力
	書く能力
	読む能力
社会	言語についての知識・理解・技能
	社会的な事象への関心・意欲・態度
	社会的な思考・判断
	資料活用 of 技能・表現
数学	社会的な事象についての知識・理解
	数学への関心・意欲・態度
	数学的な見方・考え方
	数学的な表現・処理
理科	数量図形などについての知識・理解
	自然事象への関心・意欲・態度
	科学的な思考
	観察・実験の技能・表現
音楽	自然事象についての知識・理解
	音楽への関心・意欲・態度
	音楽的な感受や表現の工夫
	表現の技能
美術	鑑賞の能力
	美術への関心・意欲・態度
	発想や構想の能力
	創造的な技能
保健体育	鑑賞の能力
	運動や健康・安全への関心・意欲・態度
	運動や健康・安全への思考・判断
	運動の技能
技術・家庭	運動や健康・安全についての知識・理解
	生活や技術への関心・意欲・態度
	生活を工夫し創造する能力
	生活の技術
英語	生活や技術への知識・理解
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	表現の能力
	理解の能力
	言語や文化についての知識・理解





授業では単元や小単元、時間ごとに観点別で評価し、それらを学期ごとに総合的に判断して、5段階の評定（5…十分満足できると判断されるもの 4…満足できると判断されるもの 3…おおむね満足できると判断されるもの 2…努力を要すると判断されるもの 1…一層努力を要すると判断されるもの）になおしてお知らせします。観点別評価から評定へは、下記の状況より判断します。

観点別評価	評定	観点別評価	評定	
AAAA	5	BBCC	3または2	
ABAA		BCCB		
AABA	5または4	BCBC		
AAAB		CCBB		
BAAA		CBCB		
AABB		CBBC		
ABAB	4または3	BCCC	2または1	
ABBA		CBCC		
BAAB		CCBC		
BABA		CCCB		
BBAA		3	CCCC	1
ABBB				
BABB				
BBAB				
BBBA				
BBBB				
BBBC				
BBCB				
BCBB				
CBBB				



評価方法について

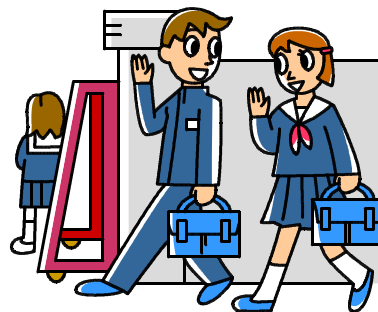
評価については、結果のみの評価にならないように、学習過程での評価を重視し、総合的に判断します。特に4つの観点それぞれの「基礎・基本」が確実の身につくように、以下の行動がとれるように取り組みましょう。

<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や題材・教材に対して、興味や関心をもって取り組む。 ・チャイムが終わるまでに着席（体育は整列）し、教科書やノートなどの必要なものを机の上に用意してある。 ・質問に対して、進んで挙手したり発言する。 ・毎時間、辞書や資料集・ワークブックを活用する。 ・ノートをきちんと書き、自分で気がついていたことや大切なところを書き加えている。 ・宿題や提出物を期日までに提出する。 ・配布されたプリントや補助資料、テストをファイルに整理している。 	<p>授業の様子 ワークシート 自己評価・相互評価 宿題 ノート プリント</p> 
<p>思考・判断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問などに説明を加えながら答えることができる。 ・いろいろな角度から問題を解くことができる。 ・より分かりやすい方法で説明することができる。 ・前に学習したことを活用して問題の解決ができる。 ・説明に必要な情報（資料や実験結果など）を集めることができる。 	<p>授業の様子 定期テスト 小テスト 実技テスト 作品・ワークシート</p> 
<p>表現・処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫したり、安全に配慮して作品を仕上げるができる。 ・正しい方法で問題を解決できる。 ・より効果的・能率的に問題を解決できる。 ・法則や原理を使って、問題を解決できる。 	<p>授業の様子 定期テスト 小テスト 宿題・プリント 実技テスト 作品・ワークシート</p>
<p>知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用語や言葉の意味を理解している。 ・法則や原理を理解し説明できる。 ・正しい用語を使って文章を書いたり、答えることができる。 	<p>授業の様子 定期テスト 小テスト 宿題・プリント</p>

※授業中に私語や出歩いて注意されたり、ノートも書かないで寝ている場合、当然、評価は「C」そして、評定は「1」になることもあります。

行動の記録の評価

落ち着いた学校生活が学力の向上につながります。「良いことは大いにほめる」と同時に「だめなことはだめ」と毅然たる態度で家庭と連携して指導していきます。学校生活での重点として、10項目の中に具体的な行動目標をきめ、通知票では「行動の記録」として、○…十分満足できる 空欄…おおむね満足できる △…努力を要する ×…特に努力を要する として学期ごとに知らせます。



以下は、通知表での行動の記録の観点です。 (平成22年度通知票より)

項目	行動の観点
基本的な生活習慣	ふさわしい言葉づかい、気持ちのこもった挨拶ができる。 服装や髪型等、節度ある身だしなみができる。 時と場を考え、規律ある行動がとれる。
健康・体力の向上	治療勧告に基づいた治療を行うことができる。 自ら健康、安全に留意し、心と身体を鍛えることができる。
自主・自律	学習のルールを守り、目的意識を持ち、自ら考え学習できる。 忍耐力を持ち、生活の中では感情を自制することができる。 誇りを持ち、大きな声で歌を歌うことができる。
責任感	自分の仕事に責任を持ち、仕事を成し遂げることができる。
創意工夫	創造的な考えや方法を見つけ、学習や生活に生かすことができる。
思いやり・協力	意見を素直に聞き入れ、相手の気持ちや立場を大切にできる。 思いやりと感謝の心を持ち、進んで協力することができる。
生命尊重・自然愛護	自他の生命を尊び、友人を大切にすることができる。 自然を愛護し、環境や動物を大切にすることができる。
勤労・奉仕	清掃や給食当番を進んで行い、ボランティア等、奉仕ができる。
公正・公平	誰に対しても差別や偏見がなく、いじめを許さない態度ができる。
公共心・公德心	交通ルール（ヘルメット着用等）を守ることができる。 秩序と規律ある社会（学級）の実現に努めることができる。



1 時間の授業の流れ

各教科とも、①基礎的・基本的な内容の確実な定着 ②学び合いにより、思考力・判断力・表現力等の育成 を図るために、下記のような学習過程を展開します。

1. 実態把握

- ・小学校や前の学年の学習がどの程度理解されているか。
- ・前時までの学習がどの程度理解されているか。
- ・その単元について生徒の興味・関心がどの程度なのか。

2. 本時の学習課題（基礎的・基本的事項）を生徒に明確に示す

- ・この一時間に何を学ばよいかを授業の開始時に生徒に知らせ、生徒自身に授業のねらいをしっかりとさせさせる。

3. 一斉授業（自力解決の中での個に応じた指導）

- ・一斉指導を行う中で、机間指導で個別指導を行ったり、再び全体指導をしたりして、学習内容の理解を図る。
- ・個々の生徒の実態に即して、教材、プリントを多様に用意して、一斉指導の中で個別指導を導入する。

4. 学び合い（小集団活動） →主に問題解決を図るための学び合い

- ・小集団での学び合い（教え合う活動等）によって、生徒一人一人に自信をつけさせ、学習意欲へとつなげる。

＜学び合い＞

○教えてもらう機会 ○教える機会 を意図的につくる。

（基本）

→聴き合う活動
が大切

5. 発表（表現の共有）＝評価

- ・本時の学習でどのくらい基礎的・基本的な内容が理解できたかを確認する。
- ・学び合いで得たことを自分の意見として発表させる。

＜発表＞

「つながり」「交わり」を意識した発表をする。

（基本）

→聴き合う活動
が大切

6. 確認（定着の度合い）＝評価

- ・教師が再指導後にどのくらい本時の学習課題（ねらい）が理解できたか評価する。
- ・生徒自身が本時の学習課題（ねらい）を達成されたか確認する。（自己評価）
（自己評価カード、小テスト、まとめや考察の中で）

7. 個に応じた指導（再指導）

- ・時間内に十分に理解できなかった場合におこなう。
 - 放課後の時間を利用しての再指導
 - 長期休業中の補習（学力向上教室）による再指導

教育に関する3つの達成目標について

埼玉県では、教育に関する3つの達成目標（「学力」「規律ある態度」「体力」の具体的な基礎・基本）を掲げ、取り組んでいます。これだけは学校と家庭が連携し、最低身につけなければならない「基礎・基本」として示されています。「確かな学力」を身につけるためには、自分でも意識して取り組む必要があります。

学力

読む 書く 計算

- ・教科書の漢字が読めますか
- ・意見文や感想文が書けますか
- ・簡単な計算ができますか

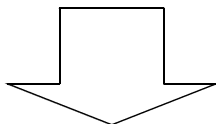
- ・あいさつや返事がしっかりできますか。
- ・生活のきまりや学習のきまりを守っていますか。

規律ある態度

体力

走る 投げる 跳ぶ

- ・全国や埼玉県の中学生の平均値を超えましたか
- ・体力をつけるための努力をしていますか



自分を信じて、継続的に取り組むことで、あなたの学力は必ず伸びます

授業 10ヶ条

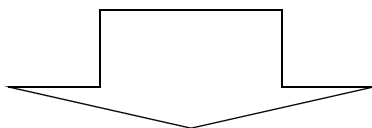
授業では以下の約束を守り、しっかりと取り組みましょう。

<規律ある学習のために>

- 1 始めと終わりは、大きな声であいさつをする。
- 2 チャイムで着席し、先生を待つ。
- 3 ノートや教科書など、忘れ物をしない。
- 4 指名のときの返事は大きな声で、「はい」という。
- 5 指定された服装で授業を受ける。
- 6 提出物は期限までに提出する。
- 7 ノートをきちんと書く。

<学び合う学習のために>

- 8 発表はみんなに聞こえるように大きな声で行う。
- 9 説明や発表中は絶対におしゃべりをしない。
- 10 共同での作業や教えあいのときは小さな声で、まわりに迷惑をかける。



「規律ある学習」で、基礎的・基本的な力（知識や技能）を定着させ、「学び合う学習」で、知識や技能を活用する力（思考力、判断力、表現力、関心・意欲・態度）の伸ばすことができます。

広島中学校では、1時間のねらい（目標）を明確にし、1時間の授業の中に必ず学び合いの時間をいれて、全員が確実に授業内容を理解する授業を目指しています。